

製品名: WISP3 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87014**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000
分子量	Calculated MW:39 kDa; Observed MW:39 kDa

抗原情報

遺伝子名	WISP3
別名	PPD; CCN6; LIBC; PPAC; WISP-3
遺伝子ID	8838
SwissProt ID	O95389
免疫原	ヒト WISP3 の合成ペプチド

背景

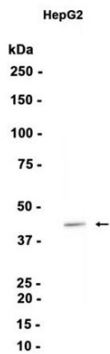
この遺伝子は、結合組織増殖因子（CTGF）ファミリーに属する WNT1 誘導性シグナル伝達経路（WISP）タンパク質サブファミリー

のメンバーをコードしています。WNT1は、多様な発達過程を媒介する、システインに富む糖鎖シグナル伝達タンパク質ファミリーのメンバーです。CTGFファミリーのメンバーは、インスリン様成長因子結合ドメイン、フォン・ヴィレブランド因子C型モジュール、トロンボスポンジンドメイン、C末端システインノット様ドメインという4つの保存されたシステインに富むドメインを特徴としています。この遺伝子は結腸腫瘍で過剰発現しています。これは、悪性転化に関連するWNT1シグナル伝達経路の下流に位置する可能性があります。この遺伝子の変異は、常染色体劣性骨格疾患である進行性偽関節様異形成症と関連しており、この遺伝子が正常な出生後の骨格成長と軟骨の恒常性維持に不可欠であること示唆しています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写産物変異体が見つかった。[RefSeq提供、2008年7月]

研究分野

-

画像データ



WISP3 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用して HepG2 細胞抽出物をウェスタンブロット分析しました。